



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月23日

上場会社名 SMK株式会社
 コード番号 6798 URL <http://www.smk.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 靖光
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 大垣 幸平
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-3785-1111
 平成26年11月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	32,171	△7.8	1,125	△43.4	2,420	△14.4	1,678	△11.3
26年3月期第2四半期	34,881	30.0	1,988	—	2,828	—	1,893	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,301百万円 (△1.4%) 26年3月期第2四半期 2,335百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.38	23.35
26年3月期第2四半期	26.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	57,896	32,715	56.4
26年3月期	56,235	31,476	55.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 32,677百万円 26年3月期 31,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 27年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	0.3	2,400	3.0	3,800	△10.6	2,500	△1.6	34.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	79,000,000 株	26年3月期	79,000,000 株
27年3月期2Q	7,186,370 株	26年3月期	7,198,819 株
27年3月期2Q	71,799,017 株	26年3月期2Q	71,243,144 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成26年10月30日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用した決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況(市場別)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

(C S事業部)

コネクタは、自動車市場では、北米向けを中心としたリアビューカメラ用や追突防止機能など安全・安心にかかわるコネクタが順調に拡大したことに加え、環境市場においても国内の太陽光モジュール用コネクタが堅調に推移しました。一方、主力の通信市場においては、スマートフォン用で、中華圏得意先向けに新製品の採用や標準品の展開が進み大幅に拡大したものの、一部得意先の落ち込みをカバーするには至らず、前年を割り込む結果となりました。

この結果、当事業の売上高は130億4千3百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

(F C事業部)

主力のリモコンは、映画・音楽視聴やゲームも楽しめる海外インターネットプロトコル・セットトップボックス向けが引き続き高水準を維持しました。また、サニタリー向けなどの住宅設備関連、介護ベッド向けなどの医療・福祉関連も順調に推移しました。ユニットは、車載カメラモジュールが好調で、前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は116億円(前年同期比1.1%増)となりました。

(T P事業部)

主力の自動車向けは、カーナビゲーション及びセンターコンソール用タッチパネルが北米地区得意先を中心に引き続き好調を維持したものの、一部得意先の落ち込みにより前年と同等の売り上げとなりました。中国市場向けATM用タッチパネルは熾烈な価格競争により、前年を下回る結果となりました。家電市場向けは、新規ビジネス開始により、金額は少ないながらも前年を大きく上回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は74億7千7百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は321億7千1百万円(前年同期比7.8%減)に、営業利益は売上高の減少により、11億2千5百万円(前年同期比43.4%減)になりました。経常利益は円安による為替差益9億7千8百万円を計上し24億2千万円(前年同期比14.4%減)に、四半期純利益は16億7千8百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、363億6千4百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が14億7百万円、未収入金が5億9千9百万円それぞれ増加し、現金及び預金が7億4千万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、215億3千2百万円となりました。これは、有形固定資産が8億3百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、578億9千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し、196億4百万円となりました。これは、短期借入金7億3百万円、未払金が11億8千5百万円それぞれ増加し、未払法人税等が4億2千5百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて16.0%減少し、55億7千6百万円となりました。これは、長期借入金10億8千2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、251億8千万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、327億1千5百万円となりました。これは、利益剰余金が6億1千2百万円、為替換算調整勘定が5億3千3百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月25日に公表いたしました平成27年3月期通期連結業績予想を本資料において修正いたしました。

通期業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の業績動向を考慮した結果、売上高、営業利益は前回予想を下回る見込みですが、為替差益の発生により、経常利益は前回予想を上回る見込みです。

なお、業績予想の前提となる通期の為替レートは、1米ドル105円を想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億8千4百万円増加し、投資その他の資産「その他」が5億1千1百万円、利益剰余金が6億9千6百万円それぞれ減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,227	10,486
受取手形及び売掛金	14,681	16,088
商品及び製品	3,188	2,943
仕掛品	725	798
原材料及び貯蔵品	1,990	2,208
その他	3,448	3,872
貸倒引当金	△36	△33
流動資産合計	35,225	36,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,360	5,307
その他(純額)	11,470	12,326
有形固定資産合計	16,830	17,633
無形固定資産		
その他	195	254
無形固定資産合計	195	254
投資その他の資産		
その他	4,095	3,754
貸倒引当金	△110	△110
投資その他の資産合計	3,984	3,643
固定資産合計	21,010	21,532
資産合計	56,235	57,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,732	3,920
短期借入金	5,119	5,823
未払金	5,927	7,113
未払法人税等	797	372
賞与引当金	1,068	754
役員賞与引当金	70	—
その他	1,405	1,620
流動負債合計	18,121	19,604
固定負債		
長期借入金	5,447	4,364
役員退職慰労引当金	180	112
退職給付に係る負債	36	43
その他	973	1,055
固定負債合計	6,637	5,576
負債合計	24,759	25,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,326	12,326
利益剰余金	15,981	16,593
自己株式	△3,433	△3,427
株主資本合計	32,871	33,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274	428
為替換算調整勘定	△2,171	△1,638
退職給付に係る調整累計額	462	398
その他の包括利益累計額合計	△1,434	△811
新株予約権	39	37
純資産合計	31,476	32,715
負債純資産合計	56,235	57,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	34,881	32,171
売上原価	28,388	26,553
売上総利益	6,492	5,617
販売費及び一般管理費	4,503	4,491
営業利益	1,988	1,125
営業外収益		
受取利息	10	24
受取配当金	26	30
不動産賃貸料	372	369
為替差益	575	978
その他	110	129
営業外収益合計	1,094	1,533
営業外費用		
支払利息	53	46
不動産賃貸原価	125	143
その他	75	48
営業外費用合計	254	239
経常利益	2,828	2,420
特別利益		
固定資産売却益	33	20
投資有価証券売却益	—	90
その他	10	11
特別利益合計	44	122
特別損失		
固定資産除却損	151	9
減損損失	142	98
その他	8	2
特別損失合計	302	111
税金等調整前四半期純利益	2,570	2,431
法人税、住民税及び事業税	766	358
法人税等調整額	△89	394
法人税等合計	677	752
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893	1,678
四半期純利益	1,893	1,678

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893	1,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	154
為替換算調整勘定	250	533
退職給付に係る調整額	—	△64
その他の包括利益合計	441	622
四半期包括利益	2,335	2,301
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,335	2,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,570	2,431
減価償却費	1,536	1,609
減損損失	142	98
のれん償却額	30	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	345	△323
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	△67
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	37	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△277
受取利息及び受取配当金	△36	△55
支払利息	53	46
固定資産除却損	151	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,848	△390
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△109	215
仕入債務の増減額 (△は減少)	361	△906
未収入金の増減額 (△は増加)	△493	△532
未払金の増減額 (△は減少)	1,211	988
その他	△47	△122
小計	3,917	2,723
利息及び配当金の受取額	36	78
利息の支払額	△53	△49
法人税等の支払額	△380	△798
法人税等の還付額	0	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,520	1,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41	△43
定期預金の払戻による収入	38	43
有形固定資産の取得による支出	△1,789	△1,961
有形固定資産の売却による収入	138	59
無形固定資産の取得による支出	△53	△92
投資有価証券の取得による支出	△490	—
投資有価証券の売却による収入	455	125
貸付けによる支出	△46	△39
貸付金の回収による収入	53	45
その他	△4	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,740	△1,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,737	△100
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,850	△344
自己株式の取得による支出	△2	△3
自己株式の売却による収入	22	8
配当金の支払額	△354	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,051	△797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,764	△761
現金及び現金同等物の期首残高	8,630	11,134
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	14
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,395	10,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	F C 事業部	T P 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,497	11,477	7,807	34,781	100	34,881
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,497	11,477	7,807	34,781	100	34,881
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	1,592	△392	760	1,960	28	1,988

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及びファクタリング事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては142百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	F C 事業部	T P 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,043	11,600	7,477	32,120	51	32,171
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,043	11,600	7,477	32,120	51	32,171
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	747	△418	792	1,121	4	1,125

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及びファクタリング事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「FC事業部」セグメントにおいて、将来キャッシュ・フローが見込まれないことから、減損損失を特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては98百万円であります。

4. 補足情報

受注及び販売の状況(市場別)

①受注実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
通信部品	10,514	30.0	7,354	22.7	△3,159	△30.0
情報事務機部品	3,410	9.7	2,727	8.4	△682	△20.0
家電部品	3,875	11.0	4,177	12.9	301	7.8
電装部品	9,390	26.8	9,925	30.6	534	5.7
映像・音響部品	7,268	20.7	7,421	22.9	153	2.1
その他部品	640	1.8	810	2.5	169	26.5
合計	35,098	100.0	32,416	100.0	△2,682	△7.6

市場別	(参考)前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比
通信部品	16,662	25.4
情報事務機部品	6,058	9.3
家電部品	8,916	13.6
電装部品	18,264	27.9
映像・音響部品	14,095	21.5
その他部品	1,495	2.3
合計	65,492	100.0

②販売実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
通信部品	10,055	28.8	7,675	23.9	△2,380	△23.7
情報事務機部品	3,418	9.8	2,702	8.4	△715	△20.9
家電部品	4,419	12.7	4,645	14.4	226	5.1
電装部品	8,848	25.4	9,213	28.6	364	4.1
映像・音響部品	7,564	21.7	7,109	22.1	△455	△6.0
その他部品	575	1.6	825	2.6	249	43.5
合計	34,881	100.0	32,171	100.0	△2,709	△7.8

市場別	(参考)前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	構成比
通信部品	16,933	25.7
情報事務機部品	6,453	9.8
家電部品	8,825	13.4
電装部品	18,252	27.8
映像・音響部品	14,046	21.3
その他部品	1,285	2.0
合計	65,796	100.0